

3 令和2年度 学年・教科等としての具体的取組

国語

- 実生活や実社会に結び付いた課題を設定し、課題を解決するための言語活動を学習過程に位置付け、学んだことを自分の表現に役立てる機会を増やしていく。
- 互いに意見を交換したり、読み合う機会を増やし、多くの考え方や表現に触れ、自ら主体的に考え、表現する姿勢を養う（今年度当面は交流学习なし）

数学

- 基礎・基本の定着を図るために、3学年で少人数指導、1学年でT Tの授業を実施する中で数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにする。
- 実生活や実社会の事象を数理的に考察したり論理的に説明したりするなど、数学的活動を重視し、身近な生活と関連付けた学習を意識した授業の展開を心掛ける。

音楽

- 各行事（合唱コンクール・三送会・卒業式など）では、表現の工夫をし、生徒がより主体的に取り組めるようにする。
- 鑑賞では、各時代の音楽を取り上げることで、興味関心を高め、いろいろな音楽表現を知り、主体的・魅力的な題材の提供を工夫する。
- 日本の伝統音楽（雅楽・能・歌舞伎・箏曲など）については、興味をもって主体的に取り組めるようにする。

技術・家庭

- 小学校や他教科での既習事項や生活体験、興味・関心を把握し、生徒の資質・能力を踏まえ題材設定を行う。
- 習得した知識と技術を積極的に活用し、意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返す。

特別活動

- 学級活動や生徒会活動、学校行事に自らすすんで取り組み、活動の意義や大切さを感じさせると共に、集団のリーダーとして活躍することのできる人材を育成する。
- 学校生活全体を通して、おもいよりの心を育み、よりよい人間関係を生徒自身が考えを深めていけるような活動を設定する。

個別支援学級

- 自立を目指したさまざまな学習に対し、主体的に取り組むために、一人ひとりの実態に応じた学習環境を整える。
- 個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し指導の充実を図り、達成感を味わえるようにする。

社会

- 写真や映像等の資料を活用し、社会的事象に対する関心を高め、基本的な学力の定着を図る。
- 社会的事象に対して主体的に考え、自分の考えを表現できる場を多く設定することで、思考力や表現力の向上を目指す。

理科

- 実生活と理科のつながりに関心をもたせ、基礎的な知識の定着を図る。
- 実験を通して主体的な学びや対話的な学びの場を多く設定することで思考力の向上を目指す。

美術

- 様々な題材において、自ら進んで表現する喜びを感じられるよう工夫する。
- 授業内で作品やアイデアを見せあう場を設定し、共に学びあい、深い理解につなげる。

外国語

- 場面を設定したコミュニケーション活動を積極的にを行い、主体的な学びになるような学習方法を工夫する。
- UNIT全体で生徒に身につけさせる力を明確にして、単元計画、評価計画を立てる。

総合的な学習の時間

- 行事の協働的な取組の中で、コミュニケーション能力と表現力の育成を図り、その中で課題を見つけ、主体的に解決しようとする態度を育てる。（今年度は行事の中止で差し替え課題を検討）
- 職業講話や職場体験を通して学んだことを、自己の生き方につなげて考える力の育成を図る。